



市川中HP

陵風祭 Adventure

▼本番を翌日に控えた8日(金)、「がんばろう集会」が開催されました。生徒会本部による趣向を凝らしたオープニングセレモニーが行われ「彩・創造・団結をキーワードに陵風祭を成功させよう」というメッセージが伝えられた後、各部門長からの決意表明、そして、3年生にとっては最後のステージとなる吹奏楽部の発表がありました。▼ここでの盛り上がりそのままに、9日(土)の、開祭式では、生徒会長の菅原琉珂さんより、テーマ「Adventureのもと、このメンバーでできる一度限りの陵風祭を最高のものにしよう」と檄が飛びました。同時に来年度から採用する市川中のユニバーサル制服が披露されました。続いて、各学級会長から力強い陵風祭への意気込み・決意表明がありました。▼続いて文化の部が行われました。1学年演劇は「チキチキ☆チキンハート」。コミカルでかわいらしさの中にも、「命の尊さ、家族の大切さ、一人で頑張ることだけが勇気ではないこと」などを、表現してくれました。▼2年生の演劇は「破られた台本」。310万人の尊い命が奪われた太平洋戦争、中でも最も多くの犠牲者を出した沖縄戦に焦点を当て、無関心が戦争を拡大させたこと、過去を未来にさせないこと、二度と戦争を起こしてはいけないことなどを訴えました。この一年間の大いなる成長ぶりをうかがわせる素晴らしい発表でした。▼3年生の演劇は「君が見ようとしな



ちが学校にも行けずに労働を強いられていること、日本のように学校にきて勉強できることは世界では当たり前でないことなど、自分たちで調べた児童労働の実態をもとに、今こそ、持続可能な世界の構築に向け、具体的な行動を取ろうと訴えました。3年間の集大成にふさわしい内容と表現力に圧倒されました。▼午後は体育の部で始まりました。開会式で体育部門長の中込奈央さんは、「必死になって取り組んだこの2週間は本当にかげがえのない時間であった。私たちを支えてくれる全ての人たちのためにも全力でプレイしよ



う」と呼びかけました。体育の部は全員リレーなどの学年別対抗競技の他に、全校が3つの系列に分かれて競い合う障害物リレーや竹棒リレーなどが行われました。総合優勝は青系列が勝ち取りましたが、全力で必死に取り組む姿と、和気あいあいと競技を楽しむ姿の両面が見られた楽しいひとときでした。▼その後、「全校合唱」を校庭で行いました。今回「RPG」と「大地讃頌」の2曲に取り組んできましたが、全校生徒の思いが一つになった心地よい反響音が校庭を包みました。そして、最後は、全校生徒が一つの輪を作り「フォークダンス」を楽しみました。▼閉祭式では、これまでを振り返ってのエンディングムービーを見た後、本日のキーワードであった「彩・創造・団結」を意識し、全員で創り上げたすばらしい陵風祭であったことを確認し合いました。その後、再び校庭に集まり、花火が打ち上げられ、感動的なフィナーレを迎えました。▼保護者の皆様には、参観における人数制限等にご協力いただきありがとうございました。またPTA執行部の皆様には長時間にわたり運営へのご協力ありがとうございました。

